

令和元年度 病理細胞部門 精度管理報告

今野和治

柴田 瞳

市川孝昭

桑名市総合医療センター

三重県立総合医療センター

厚生連鈴鹿中央総合病院

はじめに

- ▶ 日臨技システムを利用したWeb上でのフォトサーベイを実施した。
- ▶ 実行委員は
今野和治（桑名市総合医療センター）、
柴田瞳（三重県立総合医療センター）、
市川孝昭（厚生連松阪中央総合病院）
の3名で行った。

方法・対象 ▶ 資料の配布・回答方法

- ▶ 参加施設は県内20施設を対象とした。
- ▶ 出題は15問、パパニコロウ染色と評価に必要と思われる特殊染色を各設問に掲載した。
- ▶ 設問文にある年齢、性別、採取材料および 臨床所見を参照して五者択一とし、すべて Web上で閲覧、回答を行う形式で行った。

方法・対象 ▶ 評価・判定

- ▶ 目標正解率を80%とした。
- ▶ 評価内容および評価方法は臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法に関する日臨技指針に基づき、判定を行った。
- ▶ 本年度の各設問の正解率は70%以上であったため設問1～15はすべて評価対象とした。

日臨技臨床検査精度管理調査フォトサー ベイ評価方法

- ▶ **評価A: 正解**
- ▶ 評価B: 大きな誤りではないが勉強の必要あり
- ▶ **評価C: 誤り、改善の余地あり、良悪の判定はできている**
- ▶ 評価D: あってはいけない誤り, 必ず改善する必要あり

対象出題症例 領域

▶ 婦人科	4例	• 体腔液	2例
▶ 呼吸器	1例	• 消化器	2例
▶ 乳 腺	2例	• リンパ節	1例
▶ 甲状腺	1例	• その他	1例
▶ 泌尿器	1例		



施設別正解率

施設	正解数	正解率
1	13 / 15	87%
2	15 / 15	100%
3	15 / 15	100%
4	15 / 15	100%
5	14 / 15	93%
6	14 / 15	93%
7	15 / 15	100%
8	15 / 15	100%
9	15 / 15	100%
10	15 / 15	100%
11	14 / 15	93%
12	15 / 15	100%
13	14 / 15	93%
14	14 / 15	93%
15	12 / 15	80%
16	14 / 15	93%
17	15 / 15	100%
18	15 / 15	100%
19	14 / 15	93%
20	11 / 15	73%

平均正解率
94.6%

前年度

本年度

施設	正解数	正解率	正解数	正解率
1	1 5 / 1 5	100%	1 3 / 1 5	87%
2	1 5 / 1 5	100%	1 5 / 1 5	100%
3	1 5 / 1 5	100%	1 5 / 1 5	100%
4	1 5 / 1 5	100%	1 5 / 1 5	100%
5	1 1 / 1 5	73%	1 4 / 1 5	93%
6	1 5 / 1 5	100%	1 4 / 1 5	93%
7	1 4 / 1 5	93%	1 5 / 1 5	100%
8	1 2 / 1 5	80%	1 5 / 1 5	100%
9	1 4 / 1 5	93%	1 5 / 1 5	100%
10	1 4 / 1 5	93%	1 5 / 1 5	100%
11	1 5 / 1 5	100%	1 4 / 1 5	93%
12	1 5 / 1 5	100%	1 5 / 1 5	100%
13	1 4 / 1 5	93%	1 4 / 1 5	93%
14	1 3 / 1 5	86%	1 4 / 1 5	93%
15	1 3 / 1 5	86%	1 2 / 1 5	80%
16	1 5 / 1 5	100%	1 4 / 1 5	93%
17	1 5 / 1 5	100%	1 5 / 1 5	100%
18	1 5 / 1 5	100%	1 5 / 1 5	100%
19	1 5 / 1 5	93%	1 4 / 1 5	93%
20	1 4 / 1 5	93%	1 1 / 1 5	73%

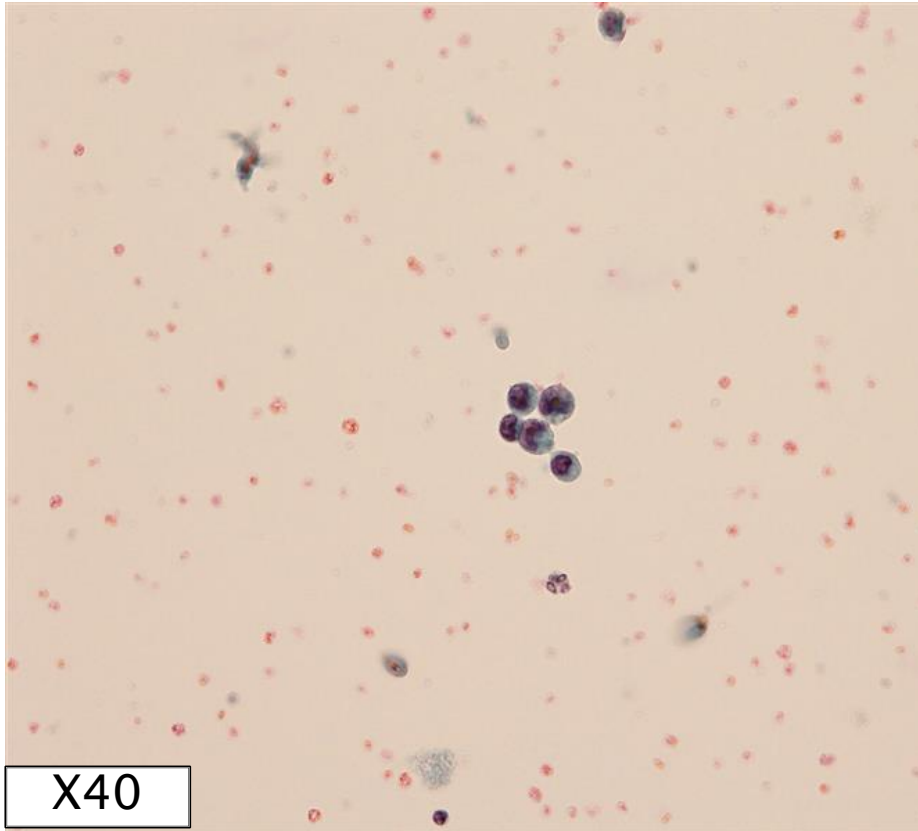
平均正解率 94.7%

平均正解率 94.6%

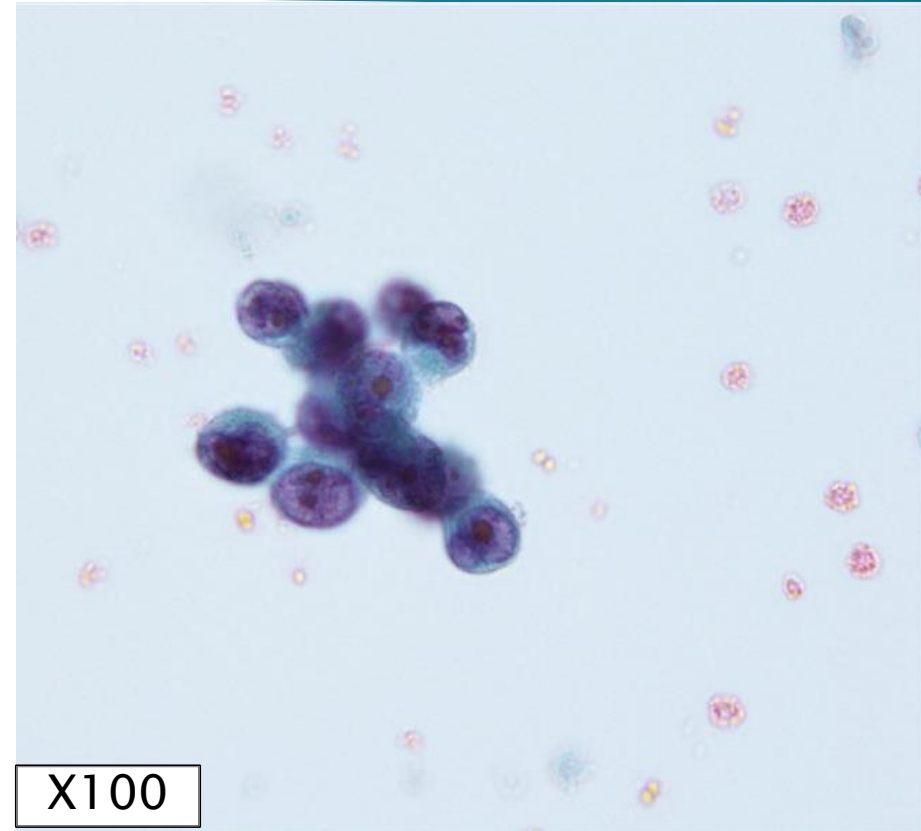
設問別正解率

設問No.	正解施設数	正解率	解答
1	20	100%	エクソダス
2	18	90%	上皮内腺癌
3	16	80%	子宮内膜増殖症
4	20	100%	漿液性腺癌
5	15	75%	腺癌
6	19	95%	腺癌
7	20	100%	中皮細胞と組織球
8	19	95%	悪性リンパ腫
9	20	100%	反応性リンパ節炎
10	20	100%	腺癌
11	19	95%	神経内分泌腫瘍
12	20	100%	悪性リンパ腫
13	20	100%	粘液癌
14	20	100%	授乳期腺腫
15	18	90%	膠芽腫

設問6



X40

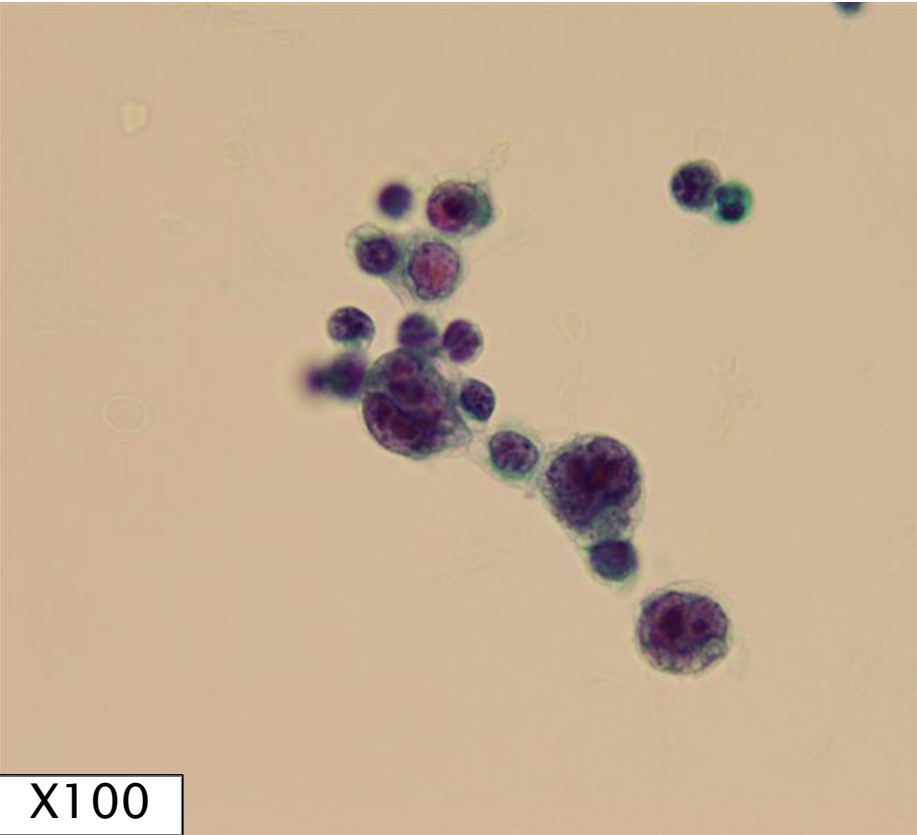


X100

年齢／性別 : 80歳／男性
採取材料(方法): 自然尿
臨床所見 : 血尿 10年前に前立腺癌
の既往

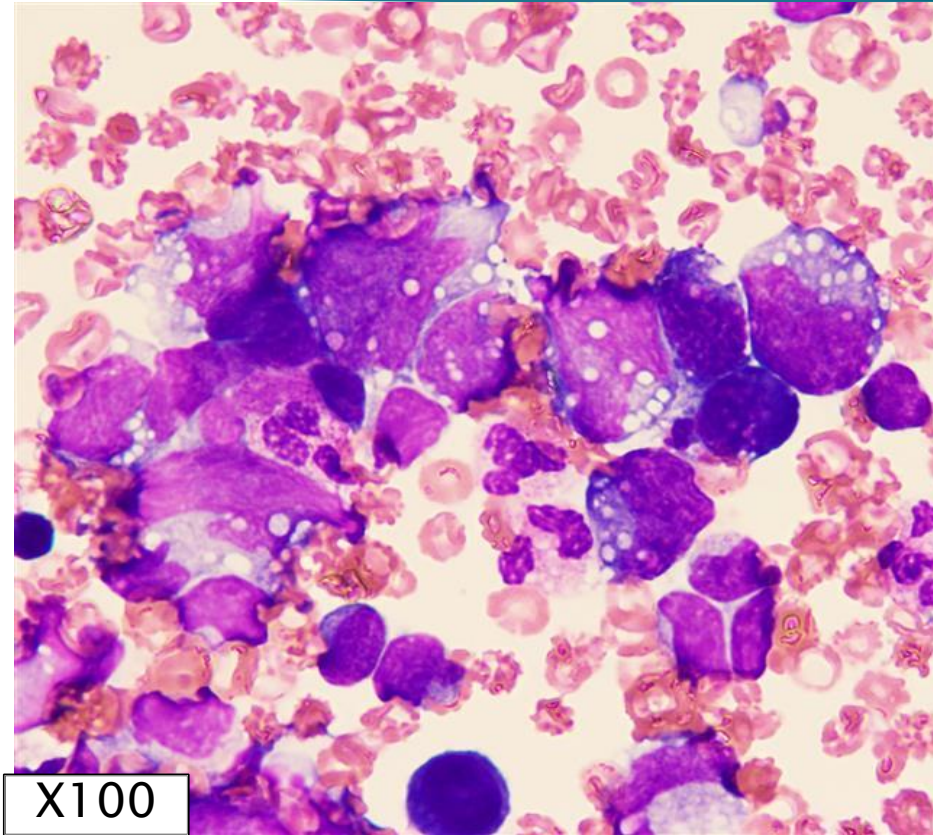
1. 高異型度尿路上皮癌 (5%)
2. 尿細管上皮
3. 腺癌 (前立腺癌転移) (95%)
4. 反応性尿路上皮
5. 小細胞癌

設問8



X100

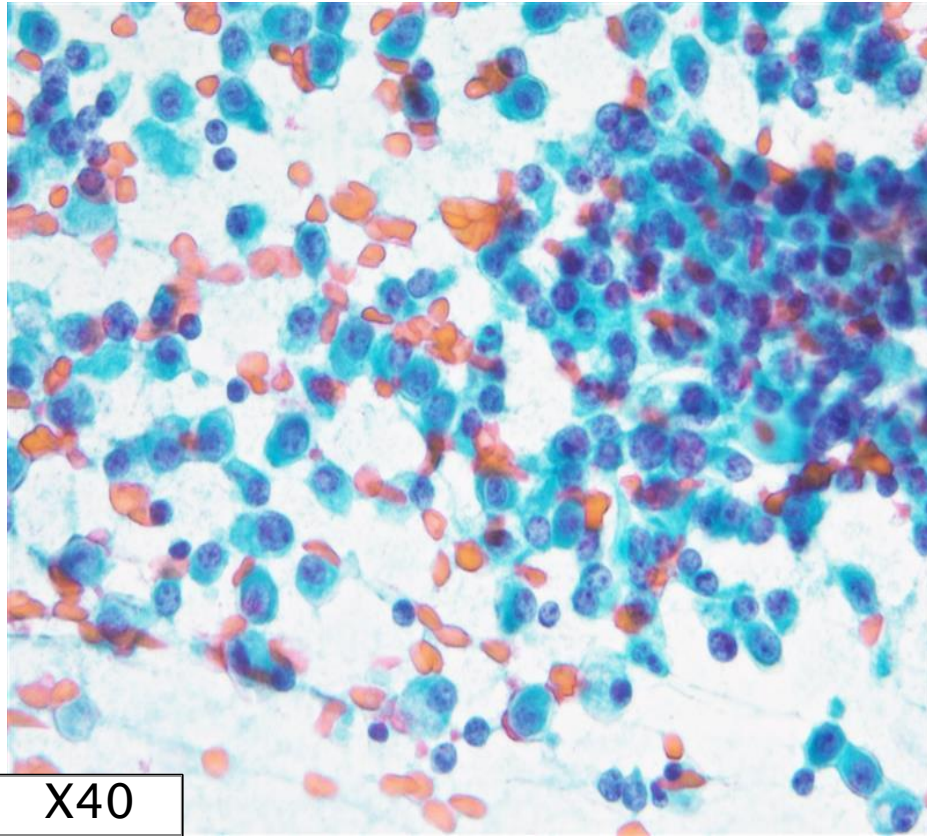
年齢／性別 : 80歳／女性
採取材料(方法): 腹水
臨床所見 : 腹水貯留



X100

1. 反応性中皮と組織球
2. 腺癌 (5%)
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫 (95%)
5. 悪性中皮腫

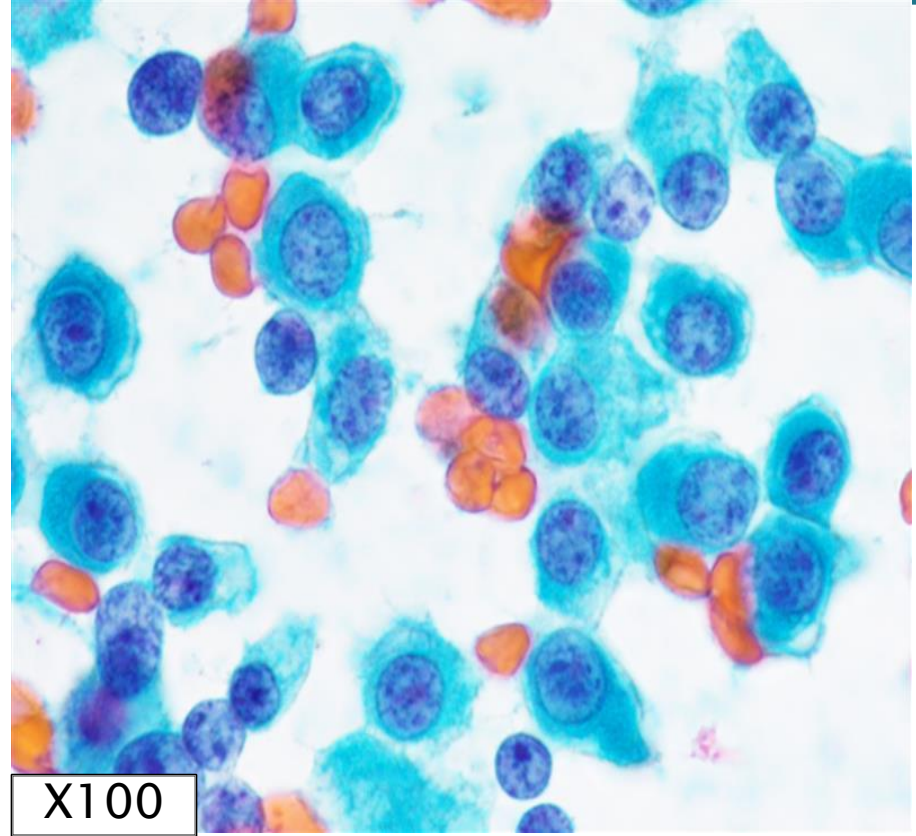
設問11



年齢／性別 : 60歳／男性

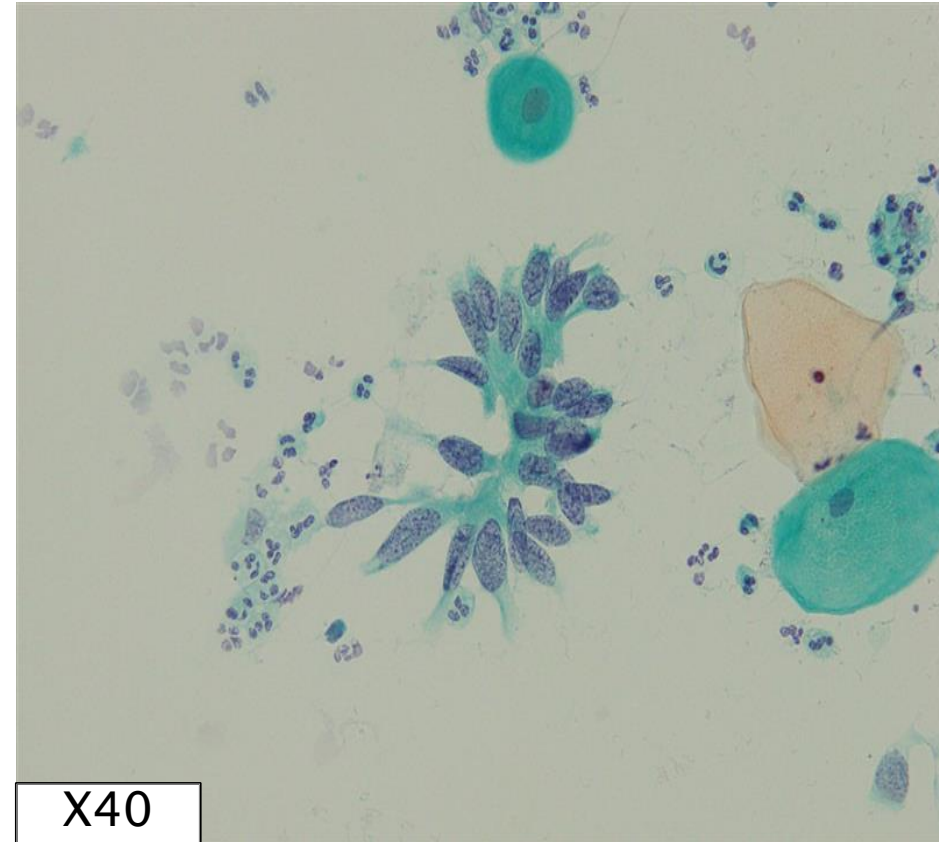
採取材料(方法): 膵腫瘤
(EUS-FNAC)

臨床所見 : 膵頭部腫瘍

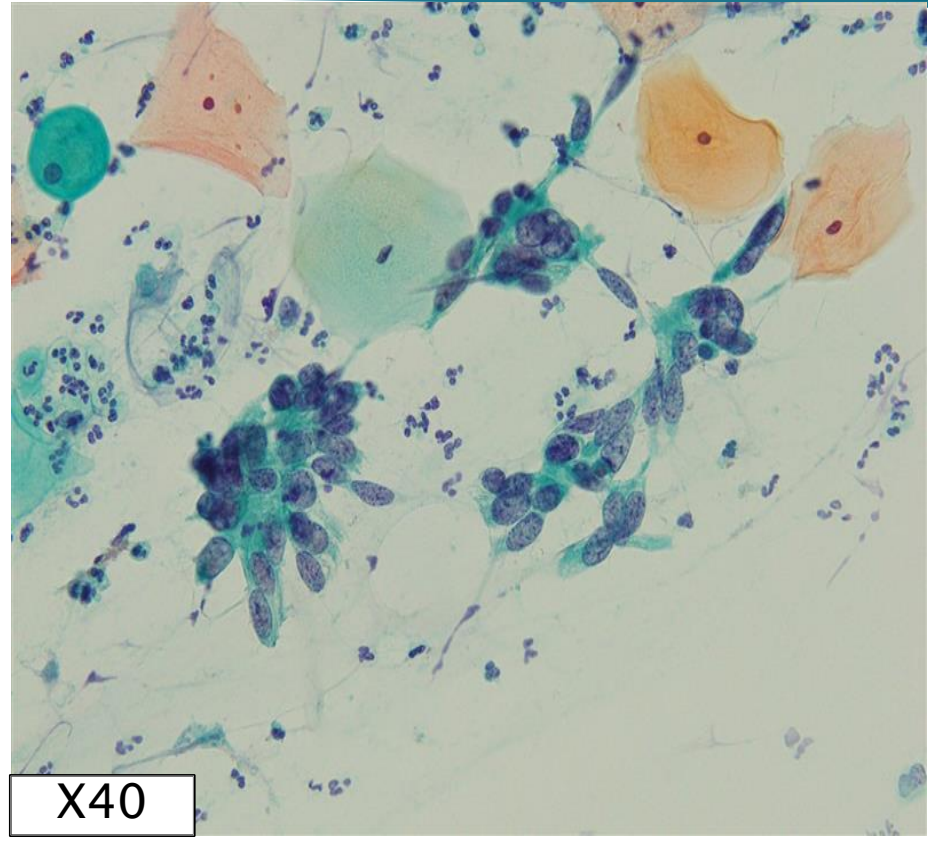


1. 正常腺房細胞
2. 膵管癌
3. 神経内分泌腫瘍(95%)
4. 悪性リンパ腫
5. 充実性偽乳頭状腫瘍(5%)

設問2



年齢／性別 : 44歳／女性
採取材料(方法): 子宮頸部
臨床所見 : 子宮頸がん検診異常



1. NILM
2. H-SIL: 高度扁平上皮内病変
3. AGC: 異型腺細胞 (10%)
4. AIS: 上皮内腺癌 (90%)
5. SCC: 扁平上皮癌

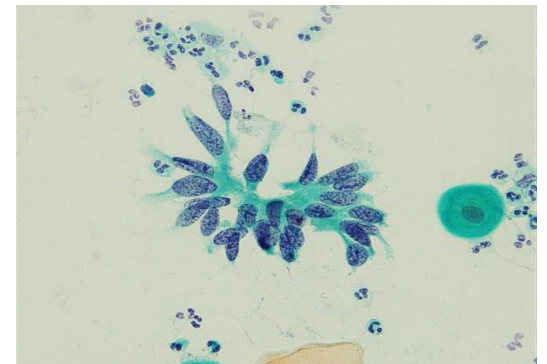
AIS?? AGC??

▶ 腺細胞 ベセスダシステム2001準拠子宮頸部細胞診報告様式 より

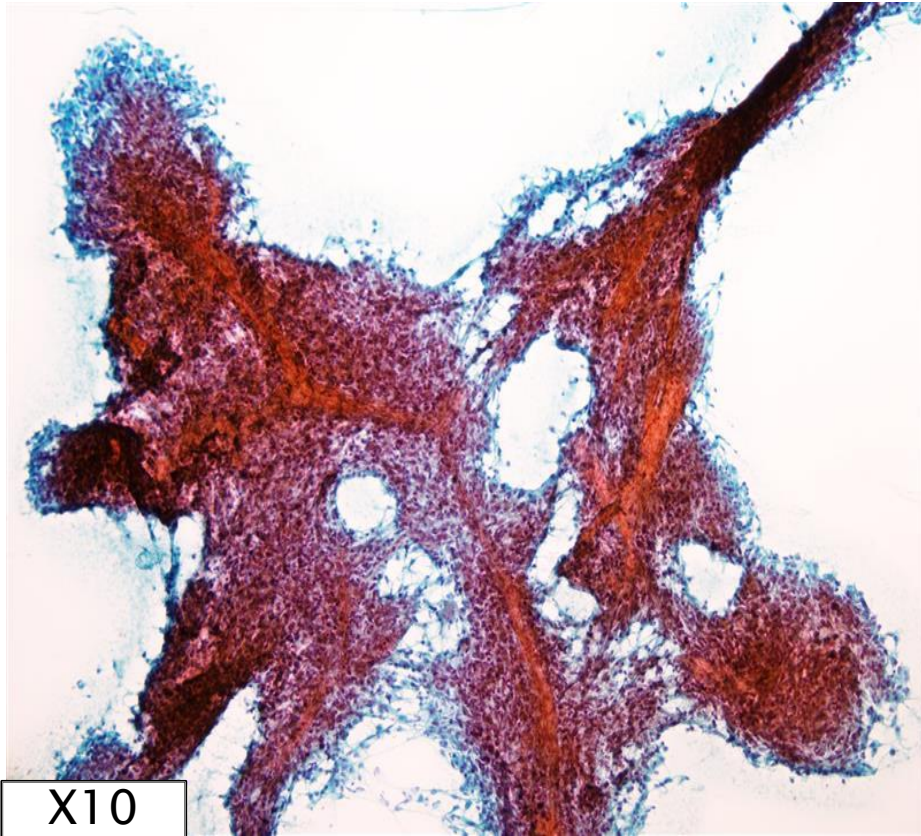
特定不能な異型 (AGC-NOS)

反応性変化や修復変化を越えた異常を認めるが、明らかな内頸部AISや浸潤腺癌の特徴がないもの。

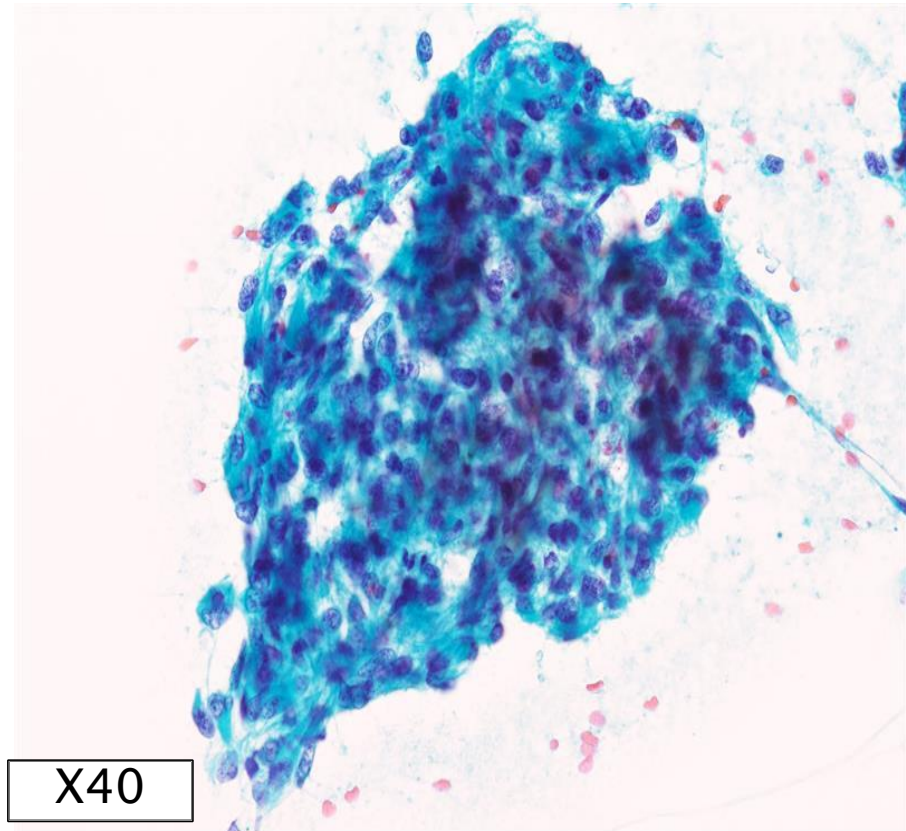
腫瘍性を示唆する異型内頸部細胞 (AGC-favor neoplastic)
細胞形態は異常であるが量的質的に内頸部AISや浸潤腺癌の判断に至らないもの。



設問15

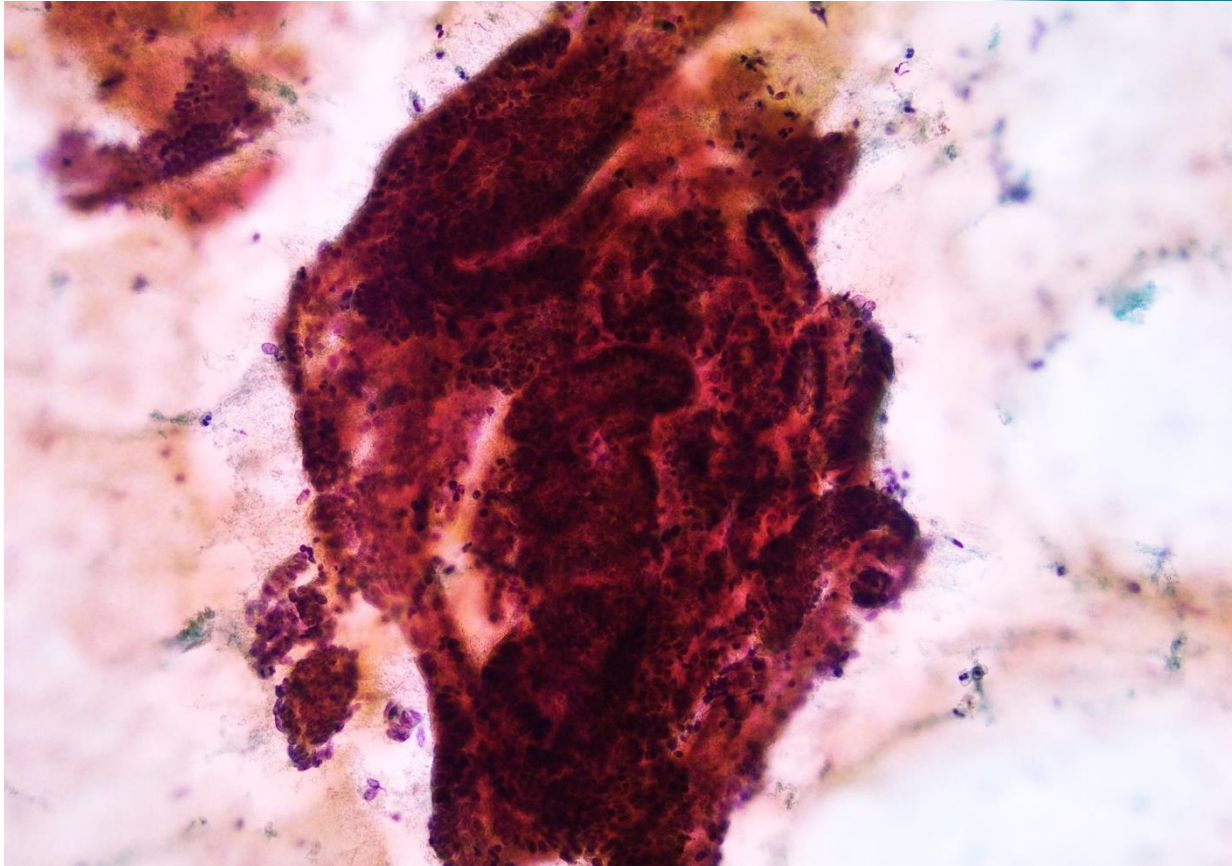


年齡／性別 : 60歲／女性
採取材料(方法): 腦腫瘍(压挫)
臨床所見 : 腦腫瘍



1. 髓膜腫
2. 乏突起膠腫
3. 膠芽腫(90%)
4. Schwann細胞腫
5. 轉移性腺癌(10%)

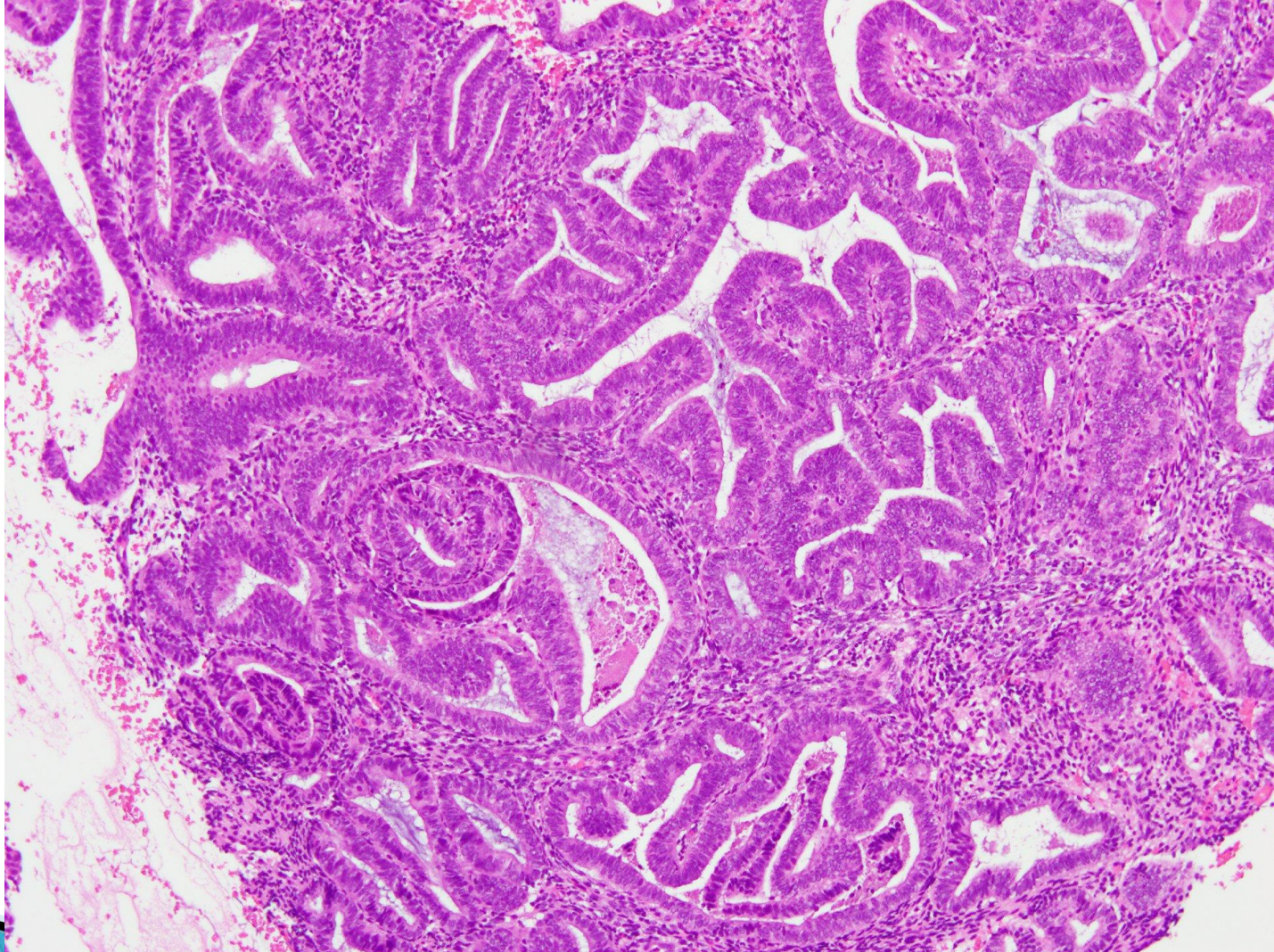
設問3



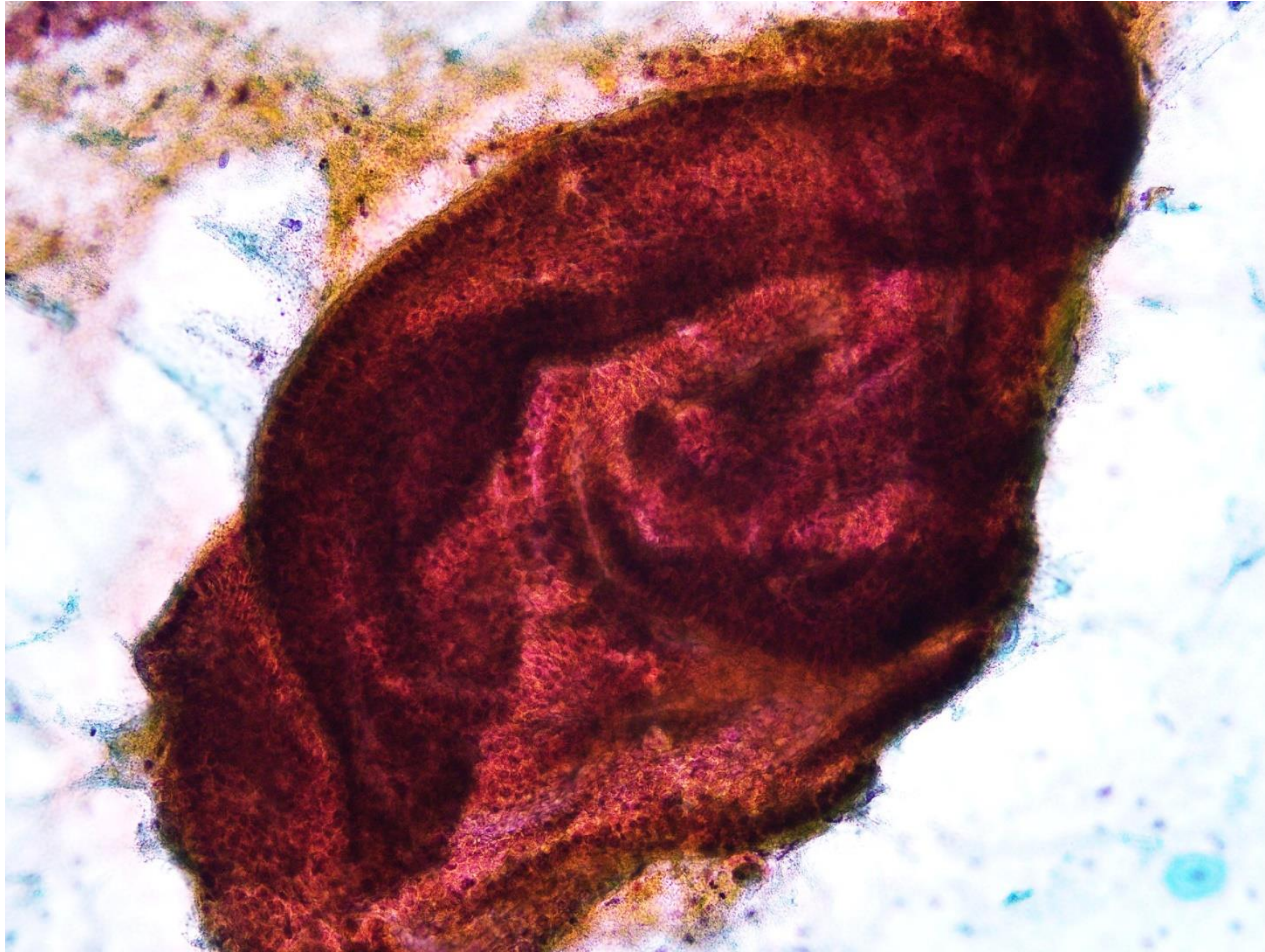
年齡／性別：48歲／女性
採取材料(方法)：子宮內膜(擦過)
臨床所見：內膜肥厚

1. 分泌期內膜(20%)
2. 萎縮內膜
3. 子宮內膜增殖症(80%)
4. 類內膜癌
5. 漿液性癌

設問3

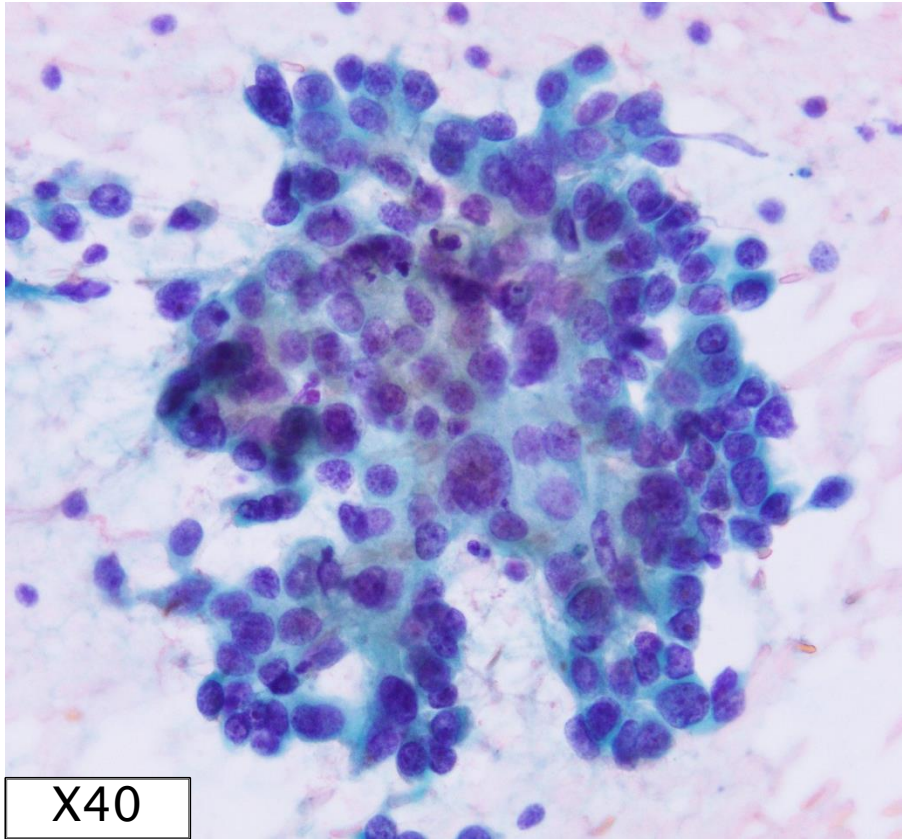


設問3



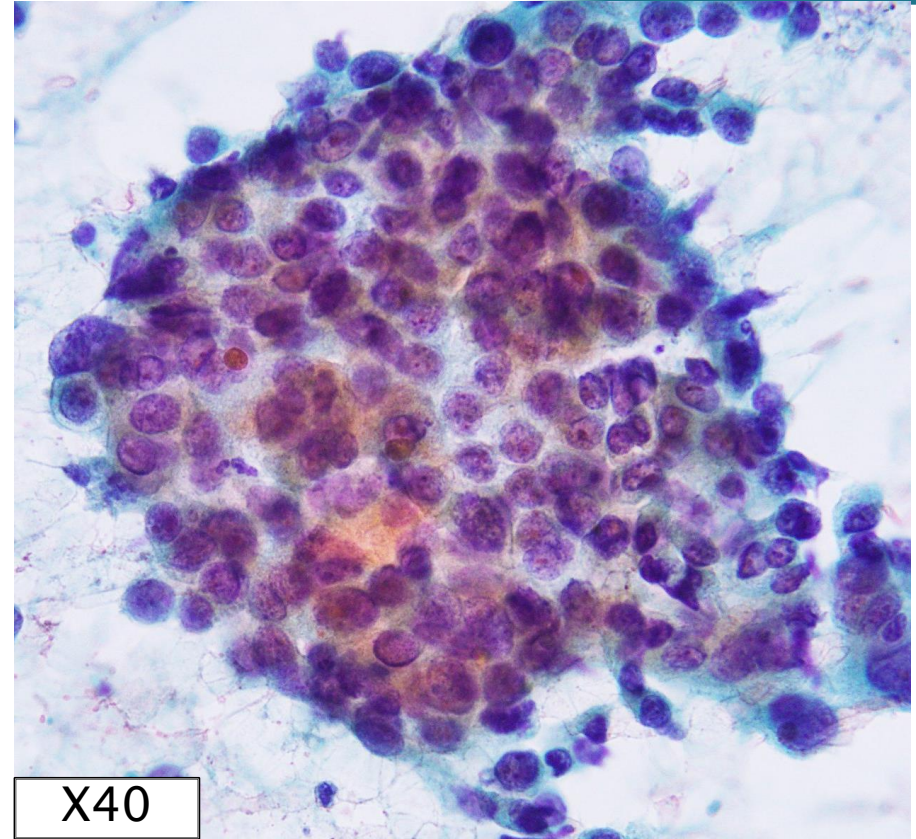
核下空砲？ 分泌期内膜？

設問5



年齢／性別 : 49歳／男性
採取材料(方法): 縦隔リンパ節
(EBUS-TBNA)

臨床所見 : 胸部X線異常影



- 1.サルコイドーシス
- 2.扁平上皮癌(25%)
- 3.腺癌(75%)
- 4.小細胞癌
- 5.カルチノイド

まとめ

- ▶ 日常常務で検査材料の多い婦人科材料から、乳腺・甲状腺などの穿刺吸引細胞診材料、最近実施施設も増加しているEUS-FNA材料など広い範囲の検体の症例を対象として行った。
- ▶ 15症例全てにおいて、正解率70%を下回ることはなく、評価対象外なく評価を行うことができた。
- ▶ 全施設の正解率は94.6%と非常に良好な結果を得ることができた。

まとめ

- ▶ 各施設個別に正解率をみると、1施設のみ80%を切る施設があった。
- ▶ 正解率の低かった呼吸器領域における腺癌と扁平上皮癌の鑑別では、臨床的にも鑑別が必要となることが多く、今後強化していく必要があると考えられる。
- ▶ また、サーベイの設問として提示する細胞像の選択や、細胞写真の取り方等への意見もあり、反省する点もあった。
- ▶ サーベイは基本～応用的な問題を出題したが、他施設との知識の共有、ガイドライン等の教本の確認を定期的に行う必要があると考えられた。

総括

今回は、基本～応用的な症例と、幅広く出題したが、良好な結果が得られた。

今後は基本的な症例に加え、鑑別を要する症例、また細胞検査士として知っておくべき、また忘れてはいけない症例等、幅広く出題していきたい。